

※随時受付

農 第 届		地 4 出		法 条 書		受付日		受 付 番 号	
						年	月		
						受 付 者 印			
届出人									
住所 檀原市□□町□□番地の□□									
氏名 (ふりがな) 檀原 花子 <small>カシハラ ハナコ</small> 電話 0744 - ** - ****									
所 在 地	檀原市 △△ 町 △△ 番 △			田	畑	計	利用状況		
	外 筆			m	150 m	150 m	田・畑・その他 ()		
市街化区域 提出書類									
1	農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書		1部	10	事業計画書 (資材置場・駐車場)		1部	※届出人が法人の場合	
2	登記事項証明書 (全部事項証明書) (法務局)		1部	11	位置図		1部	a、bのいずれか 1部	
3	住民票 ①又は②に該当する場合のみ提出 ① 檀原市民以外の方 ② 登記事項証明書に記載された住所と現住所が異なる方 (自己住宅の場合は住民票謄本(続柄記載)) (自己住宅以外は住民票抄本) ②の場合は住所の履歴の記載あるもの		1部	12	登記所に備付の地図又は準ずる図面 (いわゆる「公図」) (法務局)		1部	a 法人登記事項証明書	
					13	建物・計画平面図 (断面・排水図を含む。)		b 定款又は寄付行為の写し	
4	事業計画書		1部	14	建物・配置図・立面図		1部		
5	誓約書 (市)		1部	15	開発許可写し (500㎡以上)		1部		
6	隣地同意書 (隣地が農地の場合)		1部	16	法令協議チェックシート		1部		
7	自治会長・水利組合長同意書		1部	17	生産緑地地区内・外証明 (公園緑地景観課)		1部		
8	倉橋溜池受理証明書 (倉溜事務所) (桜井市川合272-1 ☎ 0744-42-2664)		1部	18	転用届出に係る意見書 (隣地が農地の場合)		1部		
9	大和平野土地改良区調査書		1部	19	委任状 (委任する場合)		1部	受任者、委任者 両者押印が必要	
転用目的							事務局確認欄		
自己住宅		共同住宅		青空駐車場		青空資材置場		農家台帳	農業者年金
貸家住宅		店舗		道路用地				小作地	生産緑地
分譲住宅		倉庫		庭先用地	○			納税猶予	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 抵当権等が設定されている場合は、抵当権者等の同意書を提出してください。 ・ 登記事項証明書、住民票は3か月以内に発行されたものを提出してください。 ・ 13、14の開発行為を伴うものは、その図面と同じものを提出してください。 ・ 町界に接する場合は、接する側の隣地農地同意書及び自治会長・水利組合長の同意書が必要です。 									
調査委員 (意見書 有・無)					提出者				
農地利用最適化推進委員 (地区担当)					氏名	△△ △△		日中連絡の取れる番号を記入してください。	
記載不要					電話	080-****-****			

農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用届出書

令和〇年〇月〇日

檀原市農業委員会会長 殿

届出者 檀原 花子

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項第7号の規定により届け出ます。

記

1 届出者の住所等	住 所								
	檀原市〇〇町〇〇番地の〇〇								
2 土地の所在等	土地の所在	地番	地 目		面積	土 地 所 有 者		耕 作 者	
			登記簿	現況		氏 名	住 所	氏 名	住 所
	△△町	**-*	畑	畑	150 m ²	檀原花子	〇〇町**-*	同左	同左
	計	150 m ² (田 m ² 畑 150 m ²)							
3 転用計画	転用の目的	庭先用地にするため							
	転用の時期	工事着工時期		受理後すぐ					
		工事完了時期		約1か月					
転用の目的に係る事業又は施設の概要				物干し場、花壇等					
4 転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	特になし								

(記載要領)

- 届出者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、それぞれ記載してください。
- 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入してください。

事業計画書

申請人 住所 檀原市□□町□□番地の□□
(転用者)

氏名 檀原 花子

1. 転用者の現在の事業内容

(1) 事業の名称(商号)

なし

(2) 主たる事業の種類

なし

(3) 現在の施設の概要(敷地面積・建物の種類及び延べ面積の詳細)

なし

(4) 事業従事者数又は収容人員

なし

(5) 資金調達計画

事業者の場合

株式会社〇〇〇

土木建築業

〇〇町**番地(青空資材置場)***m²

従事従業員数**人

事業	区分	金額(円)	摘要
事業費内訳	土地購入費		
	整地費	100,000	
	建築費		
	その他		
	計	100,000	
事業資金内訳	自己資金	100,000	
	借入金		
	その他		
	計	100,000	

2. 権利を設定又は転用しようとする理由

自宅の隣接地で外部からの進入路がなく、農業利用が困難なため

3. 申請地を選定した理由

自宅の隣接地で利便性が良いため

4. 転用目的に係る施設の新設・増築・移転・その他の別

なし

5. 転用目的に係る施設の規模及び構造

別紙計画図のとおり

6. 転用目的に係る施設の利用方法

庭先用地(物干し場、花壇等)

7. その他(近く拡張計画がある場合その内容等記入)

なし

よく読んで、記名捺印してください。

誓約書

令和〇年〇月〇日

檀原市農業委員会
会長 殿

住所 檀原市〇〇町〇〇番地の〇〇

氏名 檀原 花子

檀原

《物件の表示》

檀原市 〇〇町 〇〇番 〇 (田畑) 150㎡

今般、農地法第4条の規定による届出書を提出致しますが、受理に対する下記条件を厳守することを誓います。

記

- 受理の通知があるまで絶対に着工しない。
- 着工前に隣地の所有者及び関係者並びに耕作者等の立会の上境界を明示する。
(道路・河川等 公共施設についても関係者という。)
- 着工前に必要に応じて市関係課と工事の内容について打ち合せする。
- 既設の道路・水路又は隣接の農地取水・耕作等水利の保全を期す。
- 隣地の農作物及び家畜等に被害を及ぼさないよう充分の措置を講ずる。
- 道路に面した部分には必ず側溝を設ける。
- 宅地造成工事により生じた道路の破損は必ず施設管理者に届け出るとともに協議のうえ原形に復旧し、一般交通に支障のないように措置する。
- 道路の拡張等公共的事業には全面的に協力する。
- 受理された場合、速やかに申請目的どおり工事を実施する。

以上

この様式は、隣接地が農地以外の場合、提出不要です。

同意書 (隣地)

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

隣地所有者名・耕作者名を記載してください。

古代 太郎 殿
古代 次郎

申請人 (転用者)

住所 檀原市□□町□□番地の□□

氏名 檀原 花子

檀原

私は、下記の土地について、農地法第 4 条の受理・許可を受けて

庭先用地

を建設したいので、同意くださるようお願いいたします。

記

所在	番地	地目	面積	備考
檀原市 △△町	△△番△	畑	150 m ²	

以上

申請人名を記載してください。

檀原 花子 殿

上記のことについて、何等異議がないので下記の条件を付して同意します。

《 条件 》

隣地所有者・耕作者から付された条件があれば、記載してもらってください。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

隣地

檀原市 △△ 町 □◇ 番地 ◇	所有者	住所名 檀原市△△町▽▽番地の△▽ 古代 太郎	檀原
	耕作者	住所名 檀原市◇◇町◇◇番地の◇◇ 古代 次郎	檀原

同意書 (自治会長・水利組合長)

令和 ○年 ○月 ○日

自治会長

殿

水利組合長

申請人 (転用者)

住所 檀原市□□町□□番地の□□

氏名 檀原 花子

檀原

私は、下記の土地について、農地法第 4 条の受理・許可を受けて

庭先用地

を建設したいので、同意くださるようお願いします。

記

所在	番地	地目	面積	備考
檀原市 △△町	△△番△	畑	150	

以上

申請人名を記載してください。

檀原 花子 殿

上記のことについて、農地法第 4 条の規定により転用 許可申請・届出をされることについては、当町内の公共農業施設物件には何等支障がなく、また、その転用施設から生じる排水が付近の用排水路に流下されることにも異議がないので同意します。

令和 ○年 ○月 ○日

自治会長	自治会長の連絡先は、市民協働課(0744-47-2638)へお問い合わせください。 △△町自治会長 ○○ ○○	印
水利組合長	水利組合長の連絡先は、地域自治会へお問い合わせください。 △△町水利組合長 □□ □□	印

事業目的が青空資材置場または青空駐車場の場合のみ提出してください

事業計画書

(青空資材置場 ・ 青空駐車場)

申請人 (借受人)	住所 檀原市□□町□□番地の□□ 氏名 檀原 花子
申請人の 職業との関連性	来客用駐車場
現在の置き場の面積 及びその利用	現在の面積：***m ² 来客用青空駐車場○台分 (賃貸借)
必要とする理由の 具体的根拠	現在の来客用駐車場の返還に伴い、 新たに青空駐車場が必要なため。
現在の事務所等との 位置的関係	徒歩3分
申請地の具体的 利用計画	来客用青空駐車場○台分
被害防除に関する計画	隣接農地がないため周囲への被害はありません。 雨水は既存の排水管により南側道路側溝に排水 します。

農地転用にかかる他法令（法律・条例）規制の協議状況チェックシート

行為者	住所	〇〇市〇〇町〇〇番地の〇〇			
	氏名	檀原 花子	他 名		
申請地	所在	地番	地目	地積	
檀原市	〇〇町	〇〇番 〇〇 外 〇 筆	田	計 〇〇〇 m ²	
	規制法令	担当機関・担当者 連絡先	協議要否 ○をつける	協議内容	
例	●●法	〇〇土木事務所 〇〇氏 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	要・不要	規制区域外	
例	●●条例	〇〇市役所〇〇課 〇〇氏 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	要・不要	例：許可申請書提出済 例：計画図面により協議済(R〇/〇/〇)	
造成や建築を行うとき	都市計画法	県建築安全課 〇〇係〇〇氏	要・不要	開発許可申請済（〇年〇月〇日）	
	宅地造成及び特定盛土等規制法	県建築安全課 〇〇係〇〇氏	要・不要	盛土をする土地の面積が500 m ² 超(盛土高が1m超)のため、別添設計図面により協議済（〇年〇月〇日）	
	特定都市河川浸水被害対策法	県河川整備課 〇〇係〇〇氏	要・不要	事業地面積が1,295 m ² のため、別添設計図面により協議済（〇年〇月〇日）	
	市町村土砂条例		要・不要	条例なし	
行為地の規制による	河川法	県河川整備課 〇〇係〇〇氏	要・不要	近隣に河川が存在しないため、手続き不要であることを確認済(〇年〇月〇日)	
	砂防法 (砂防三法)	中和土木事務所 管理課〇〇氏	要・不要	砂防指定地外のため	
	古都法 風致地区条例	檀原市公園緑地景観課 〇〇氏	要・不要	規制区域外のため	
	自然公園法 奈良県自然公園条例	県景観・自然環境課 〇〇係〇〇氏	要・不要	自然公園内のため、別添設計図面により協議済（〇年〇月〇日）	
行為による	法定外公共物 占用協議	檀原市建設管理課 〇〇氏	要・不要	北側水路の占用許可済（〇年〇月〇日）	
	奈良県太陽光発電条例	県脱炭素・水素社会推進課・〇〇係〇〇氏	要・不要	事業地面積が5,800 m ² であり、盛り切りを伴うため、別添設計図面により協議済（〇年〇月〇日）	
	市町村太陽光発電規制条例		要・不要	条例なし	
	道路法	檀原市建設管理課 〇〇氏	要・不要	雨水排水管接続に伴う道路占用協議済（〇年〇月〇日）	
その他	文化財保護法	檀原市文化財保存活用課・〇〇氏	要・不要	協議済（〇年〇月〇日）	
			要・不要		

※ 規制法や条例制定状況によって規制法令欄は適宜追記・削除して使用してください。

確認者（申請者または代理人氏名）： 署名 又は 記名